

Special Exhibition

# Talking Humans



特別展

し  
こ  
と  
ば  
の  
不  
思  
議  
を  
科  
学  
す  
る  
ト

会場：国立民族学博物館 特別展示館 解説言語：日本語、日本手話、英語

開館時間：午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）休館日：水曜日（ただし、11月23日（水）は開館）

観覧料：一般880円（600円）、大学生450円（250円）、高校生以下および障がい者手帳をお持ちの方（付添者1名を含む）は無料

＊（）は20名以上の団体料金（大学等短大・大学・大学院・専修学校の専攻科の授業）利用の方（3ヶ月以内のレビター1歳65歳以上の方の割引料金要証明書等）

＊本館展示企画展と重なれば、入館日はチケット半券で再入場できます。＊期間中一部展示替えをいたします。

主催：国立民族学博物館 協力：一般社団法人撫子寄合（NAYO）、大阪大谷大学文学部日本語日本文学科学科杉本セミ、大阪工業大学、


学校法人明晴学園、公益財団法人千里文化財団、国立科学博物館、国立研究開発法人情報通信研究機構、手話引き辞典開発プロジェクト、

ソフトバンク株式会社、多摩美術大学、筑波技術大学、のののプロジェクト、東京医科歯科大学、東京湾岸リハビリテーション病院、

同志社女子大学現代社会学部現代マシモ学科吉永セミ、特定非営利活動法人Yes!Dear!Can!、豊能障害者労働センター、

法政大学沖縄文化研究所、明和電機、横浜市瀬谷区聴覚障害者協会

後援：朝日新聞社、NHK大阪放送局、京都新聞、国立国語研究所、産経新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

 国立民族学博物館

大阪府吹田市千里万博公園10-1 交通：大阪モノレール万博記念公園駅（公園東口駅下車）  
電話：06-8876-1151（フ） <https://www.ninpaku.ac.jp/>

2022

9.1（木）

11.23（水・祝）

September 1 — November 23, 2022

The Special Exhibition Hall,  
National Museum of Ethnology

Language for Explanation  
Japanese, Japanese Sign Language, English

‘talking human’  
Wonders of Language and Languages

Special Exhibition



# Talking Humans

2022

9.1(木)

11.23(水・祝)

September 1 — November 23, 2022

The Special Exhibition Hall,  
National Museum of Ethnology

Language for Explanation  
Japanese, Japanese Sign Language, English

## ‘talking human’

Wonders of Language and Languages

特別展

し  
こ  
と  
ば  
の  
不  
思  
議  
を  
科  
学  
す  
る  
ト

会場：国立民族学博物館 特別展示館 解説言語：日本語、日本語、日本語、英語

開館時間：午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで） 休館日：水曜日（ただし、11月23日（水）は開館）

観覧料：一般880円（600円）、大学生450円（250円）、高校生以下および障がい者手帳をお持ちの方（付添者1名を含む）は無料

＊（）は20名以上の団体料金（大学等短大、大学、大学院、専修学校の専門課程）利用の方（3ヶ月以内のレジャー）満65歳以上の方の割引料金（要証明書等）

＊本館展示・企画展とも観覧できます。＊入館日はチケット半券で再入場できます。＊期間中一部展示替えをおこなっています。

主催：国立民族学博物館、協力：一般社団法人撫子寄合（NAYO）、大阪大谷大学文学部日本語日本文学専攻本ゼミ、大阪工業大学、

学校法人明晴学園、公益財団法人千里文化財団、国立科学博物館、国立研究開発法人情報通信研究機構、手話引き辞典開発プロジェクト、

ソフトバンク株式会社、多摩美術大学、筑波技術大学、のののプロジェクト、東京医科歯科大学、東京湾岸リハビリテーション病院、

同志社女子大学現代社会学部現代学も学科言語学ゼミ、特定非営利活動法人 Yes, Dear, Care, 豊能障害者労働センター、

法政大学沖縄文化研究所、明和電機、横浜市瀬谷区聴覚障害者協会

後援：朝日新聞社、NHK大阪放送局、京都新聞、国立国語研究所、産経新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社



国立民族学博物館

大阪府吹田市千里万博公園10-1 交通：大阪モノレール万博記念公園駅（公園東口駅下車）  
電話：06-8760-1511 <https://www.ninpaku.ac.jp/>

# しゃべるヒト

ことばの不思議を科学する

## Homō loquēns

'talking human' Wonders of Language and Languages

身近にありすぎてほとんど振り返ることのない「コトバ」をテーマに、言語学のみならず、文化人類学、工学系、教育系、脳科学、認知心理学等の50名を超える国内外の研究者が協力して、その不思議をおみせします!さらに展示の一部として、映像作家の山城大督がことばをイメージした作品を公開!

Language! Its existence may be too natural for most people even to think about. But there are various ways to look at it, deal with it, and also to do research about it! At this exhibit, over 50 researchers inside and outside Japan, specializing in linguistics, anthropology, engineering, education, brain science and cognitive psychology, collaborate and show the wonders of language, and languages.

## ことばについて考えてみる Learning about language

人間の言語と動物のコミュニケーションの違いは?

What are the differences between human language and animal communication?

世界のことばにみられる

いろいろな現象とは? What are the phenomena that are seen in languages around the world?

ことばを話すとき How do brains work when we speak?  
ヒトの脳はどうなっているの?

そもそもヒトは How do humans acquire languages in the first place?  
どうやってことばを身につけているの?

機械は人間のことばをどう操るの? How do machines deal with human languages?

手話言語と音声言語はなにが同じでなにが違うの? What are the differences and similarities between sign languages and spoken languages?

## 言語する人びと Languages in Japan

現在、日本ではたくさんの言語が使われています。会場エントランスには、そのうち30言語を話す方々が登場。みなさまをお出迎えます。知っている言語はいくつあるかな?

Of a large number of languages currently used in Japan, speakers of 30 will appear in the Exhibit. Come and see how many of those you recognize!



### ご来館のみなさまへ

For general information about the venue

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、会期・イベント等を変更・中止する場合があります。事前にホームページでご確認ください。



### ご利用案内

- ◎開館時間……10:00~17:00(入館は16:30まで)
- ◎休館日……水曜日(ただし、11月23日(水)は開館)
- ◎観覧料……一般880円(600円) / 大学生450円(250円) / 高校生以下 無料
- ( )は、20名以上の団体料金、大学等\*の授業でご利用の方、3ヶ月以内のリピーター、満65歳以上の方の割引料金(要証明書等)\* 大学等は、短大、大学、大学院、専修学校の専門課程
- 障がい者手帳をお持ちの方は、付添者1名とともに、無料で観覧できます。●本館展示、企画展もご覧になれます。

### Homō loquēns「しゃべるヒト」特設サイト

日本手話による展示概要はこちら

Exhibit website in English and Japanese Sign Language



### 交通のご案内

- ◎大阪モノレール……「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車徒歩約15分
- ◎バス……阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
- ◎乗用車……万博記念公園の駐車場(有料)をご利用ください。最寄りの「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

\*大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。  
\*高校生以下の方、「国立民族学博物館友の会」会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんぱくへ行くことをご申し出いただき、通行証をお受け取りください。\*万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。



## 国立民族学博物館 National Museum of Ethnology

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号  
Tel: 06-6876-2151(代) Fax: 06-6875-0401  
https://www.minpaku.ac.jp/

本特別展示は次の研究課題の成果の一部を含んでいます。

(人間文化研究機構創発センタープロジェクト)「コミュニケーション共生科学の創成」(研究代表者: 菊澤律子) (日本財団助成)「手話言語学研究部門の設置および手話言語学事業の推進」(研究代表者: 菊澤律子)  
(京都芸術大学 2022年度特別制作研究費) 山城大督新作インスタレーション(SPATIAL TONE)制作発表プロジェクト (アイスタイル芸術スポーツ振興財団) 山城大督新作インスタレーション(SPATIAL TONE)制作プロジェクト  
(JSPS・文部科学省科研費)「生物としてのヒトと言語変化」(研究代表者: 菊澤律子, 21K18377)「言語の起源・進化研究の理論的枠組み」(研究代表者: 藤田耕司, 17H06379)「手話翻訳システム構築を目指した手話対話における文単位の認定」(研究代表者: 坊農真弓, 18H03580)  
「声道模型を中心とした音響学・音声科学の教育とICTの融合」(研究代表者: 荒井隆行, 21K02889)

This exhibit includes dissemination of part of the following research projects:

Establishing Science for Universal Communication (S\_Com) (PI: KIKUSAWA Ritsuko, funded by the National Institutes for the Humanities), Sign Language Linguistics Research Section (SILLR) (PI: KIKUSAWA Ritsuko, funded by Nippon Foundation), <Kyoto University of the Arts AY2022 Grant-in-Aid for Special Creation and Research> Daisuke Yamashiro's new artwork (SPATIAL TONE) creation project, <istyle Arts and Sports Foundation> Daisuke Yamashiro's new artwork (SPATIAL TONE) creation project, and Grants-in-Aid for Scientific Research Projects: Language Change and Social Norms Reanalyzed through Human Biology (PI: KIKUSAWA Ritsuko, 21K18377); Theoretical Frameworks for Studying the Origins and Evolution of Human Language (PI: FUJITA Koji, 17H06379); Seeking A Sentence Unit of Sign Language: An interdisciplinary approach using the methods of sign language linguistics, deep learning and crowdsourcing (PI: BONO Mayumi, 18H03580); Education in acoustics and speech science using vocal-tract models and more along with its integration with ICT (PI: ARAI Takayuki, 21K02889)

## 1F | コトバのしくみ The Mechanisms of Language

1. 言語ってなに? & コトバのしくみ
2. コトバを発する身体のしくみ
3. コトバを身につけるしくみ

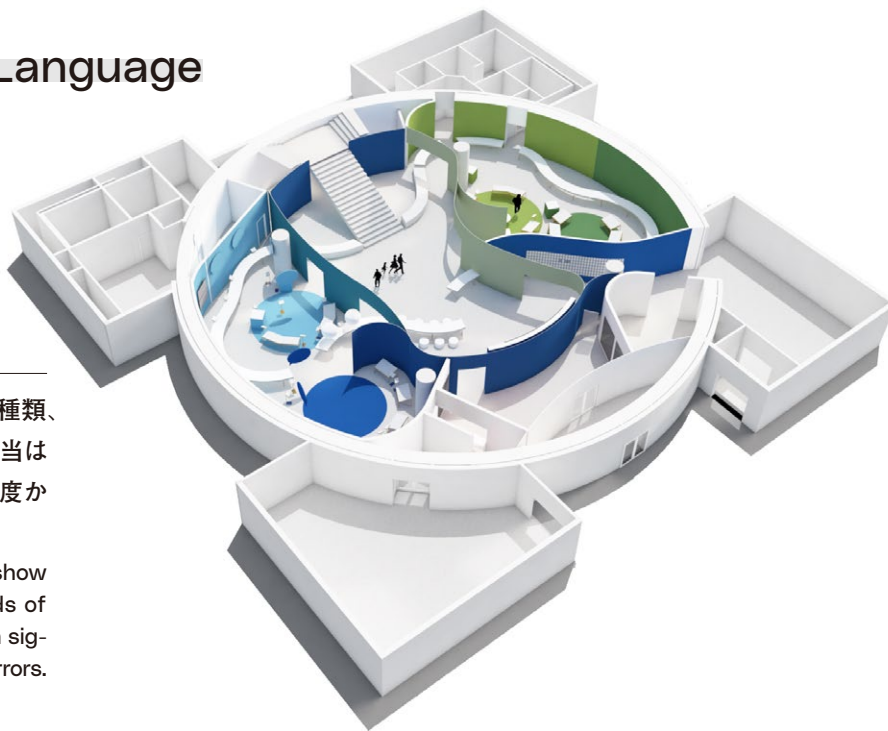
Section 1. What is "Language"? & How Does Language Work?

Section 2. How Human Produces Language

Section 3. Language Acquisition

そもそもコトバって何なのでしょう? コトバのシグナルの種類、それを発する脳と身体、そして子どもの言い間違いが本当は「間違い」ではない理由は? コトバについて、さまざまな角度からみて考えていただくヒントがいっぱい詰まっています!

What do we mean by "language" to start with? We will show how to look at language from various viewpoints: kinds of linguistic signals, our body and brain which produce such signals, and why children's language errors are in fact not errors. If you can find your own way of looking at it, you got it!



## 2F | コトバと多様性 Language and Diversity

4. コトバの多様性
5. コトバとヒトの関係の多様性
6. コトバの研究の多様性

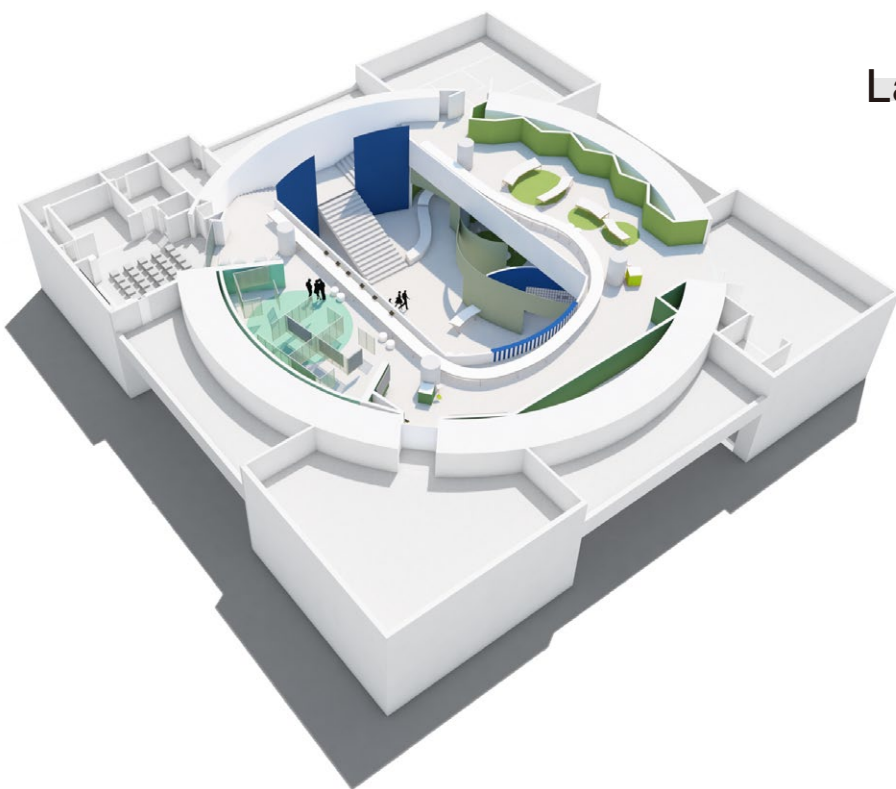
Section 4. The Diversity of Languages

Section 5. Different Ways of Relating to Languages

Section 6. Scientific Researches on Language and Languages

言語の多様性と、さまざまな形でコトバとつきあう人びと、そしてコトバを使う社会の未来に貢献する研究を紹介することで、コミュニティのすべての人びとが同等に活躍できる社会につながる第一歩になることを願います!

Language are diverse, which we think is the rich asset of human beings. Different individuals relate to language differently, which we consider the proof of everyone being a member of the community. This exhibit is meant to be the first step toward an inclusive society where every single language user participates as a member.



### 展示のみどころ紹介 Recommendations of this exhibition

#### 私の言語ヒストリー My Language History: Me and My Languages

人と言語のかかわり方は多様で、また、ライフイベントによって変化することもあります。社会でさまざまに言語とつきあいながら活躍する20名の方々とともに、ご自身の言語ヒストリーについて考えてみませんか?

Person-and-language relationship differs depending on the individual, and also it changes as one goes through some life events. With 20 people who form part of the society in his or her own way and has agreed to appear in the Exhibit, aren't you interested in thinking about your own language history?

#### 言語研究の多様性 Diversity of Language Research

コトバの意味や構造など、言語そのものを分析する研究、ヒトとコトバの関係を調べる研究、ヒトとコトバの関係を助ける研究、多様なコトバを話すヒトの共存のための研究など、言語に関する研究はさまざまで、研究分野も多岐にわたっています。最新の言語に関する研究や開発の成果をおみせします。

Being part of the human living needs, language and languages are the subject of many of the research fields. Linguistics, anthropology, archaeology, medicine, dentistry, education, etc. Of those, some latest technologies and findings will be exhibited.

## 関連イベント

※各イベントは日本語での開催で、手話通訳やユニバーサル支援ツール等の使用を組み合わせておこないます。  
詳細は決まり次第、順次ホームページに記載します。

### みんなくセミナー

各日13:30-15:00(開場13:00) 場所:みんなくインテリジェントホール(講堂) 参加無料 / 事前申込制(先着順)

#### ●アートと学問のジャムセッション

10月15日(土)

講師:菊澤律子(本館教授)、川瀬慈(本館准教授)、山城大督(Twelve Inc.・京都芸術大学 専任講師)

#### ●身の周りをフィールド言語学する

11月19日(土)

講師:吉岡乾(本館准教授)

### みんなくウィークエンド・サロン——研究者と話そう

各日14:30-(開場14:00) 場所:本館第5セミナー室 申込不要(当日先着順) / 要展示観覧券

#### ●殺魚棒とオタマトーン

9月18日(日) 話者:土佐信道(明和電機 代表取締役社長)、菊澤律子(本館教授)

#### ●いざ、ウルドゥー語入門(せめて文字だけは編)

10月23日(日)

話者:吉岡乾(本館准教授)

#### ●「世界を見せる」から「世界観に触れる」へ——誰のための点字考案200周年なのか

10月30日(日)

話者:広瀬浩二郎(本館准教授)

#### ●脳波で言語理解の脳内処理を探る

11月20日(日)

話者:井原綾(国立研究開発法人情報通信研究機構 主任研究員)、吉岡乾(本館准教授)

### みんなく映画会

場所:みんなくインテリジェントホール(講堂) 事前申込制(先着順) / 要展示観覧券

#### ●「シニエー手話を話すー」

10月8日(土) 13:30-15:50(13:00開場)

総合司会:吉岡乾(本館准教授) 司会:相良啓子(人間文化研究機構・国立民族学博物館)

解説:Sara Lanesman(イスラエル手話講師)、森田明(明晴学園 教頭)

#### ●「たき火」

11月3日(木・祝) 13:00-16:25(12:30開場)

総合司会:菊澤律子(本館教授) 司会:相良啓子(人間文化研究機構・国立民族学博物館)

解説:大館信広(映画監督)、尾中友哉(NPO法人Silent Voice 代表)、千々岩恵子(映像制作者)

### ワークショップ

※詳細についてはホームページをご確認ください。

#### ●複言語・複文化脱出ゲーム 中国語編「本の世界からの脱出」

9月23日(金・祝)、10月29日(土)、11月12日(土)

午前の部 10:30-12:30 午後の部 14:00-16:00

場所:本館第5セミナー室ほか 参加無料 / 事前申込制(先着順)

主催:大阪大谷大学文学部日本語日本文学科杉本ゼミ、国立民族学博物館

対象:小学生以上(小学校2年生以下は保護者または高校生以上の同伴者と参加)

#### ●方言版異言語脱出ゲーム 琉球語編

「紡がれるもの～おじいとおばあとの僕の物語～」

9月11日(日)

参加無料 / 事前申込制(先着順) 主催:国立国語研究所、異言語Lab.、国立民族学博物館

#### ●異言語脱出ゲーム 日本手話編「うしなわれたこころさがし」

10月9日(日)、10月10日(月・祝)

参加費4,500円 / 事前申込制(先着順)

主催:異言語Lab.、国立民族学博物館

### ワークショップ & ワークショップ展示

#### ●レゴブロックを使ったプログラミング言語ワークショップ

——プログラミング体験から「ことば」の伝え方を学ぼう!

10月16日(日)、11月6日(日)

場所:本館第5セミナー室 参加無料 / 申込不要(先着順)

企画・実施:国立民族学博物館、佐野睦夫(大阪工業大学 教授)、

上田信行(同志社女子大学 名誉教授・大阪工業大学 客員教授)、

同志社女子大学現代社会学部現代こども学科学吉永ゼミ

### シンポジウム

#### ●インターアクティブ・シンポジウム

「生物としてのヒトと言語について考える」

10月9日(日)

場所:みんなくインテリジェントホール(講堂)

講師:久賀谷亮(精神科医)、久保田直行(東京都立大学 教授)、齋藤陽道(写真家)、

土佐信道(明和電機 代表取締役社長)

企画・協力:菊澤律子(本館教授)、上田信行(同志社女子大学 名誉教授・大阪工業大学 客員教授)、

同志社女子大学現代社会学部現代こども学科学吉永ゼミ

### 友の会講演会

#### ●伝わらないことば

9月3日(土) 13:30-15:00(開場13:00) ※オンライン配信あり

場所:本館第5セミナー室 事前申込制(先着順) / 会員無料、一般(会場参加のみ)500円

講師:吉岡乾(本館准教授)

### その他イベント

#### ●連続講座 SpringX 超学校 みんなく × ナレッジキャピタル

「コトバとつきあう」シリーズ(全4回)

各日 19:00-20:00

参加方法:ナレッジキャピタルYouTubeアカウントよりオンライン(ライブ配信)で視聴 参加無料 / 申込不要

●「ヒトとコトバと展示編」菊澤律子(本館教授)8月9日(火)

●「音声の工学シミュレーション編」吉永司(豊橋技術科学大学 助教)9月2日(金)

●「身体の違いとコトバの多様性編」中島武史(兵庫教育大学 講師)10月7日(金)

●「英語学習の脳科学編」尾島司郎(横浜国立大学 教授)11月4日(金)

主催:一般社団法人ナレッジキャピタル、国立民族学博物館

※参加者は特別展観覧料割引特典があります。条件についてはホームページをご確認ください。

#### ●浜屋敷 民博楽座

「あなたにとって『コトバ』とは?～この秋、言語展示で新たな発見をしよう!～」

9月17日(土) 14:00-16:00

場所:吹田歴史文化まちづくりセンター「浜屋敷」https://hamayashiki.com/ 講師:菊澤律子(本館教授)

参加方法:9月1日(木)より浜屋敷(電話:06-4860-9731)にて電話受付 参加費500円

#### ●図書館講座じゅずつなぎ

10月24日(月) 14:00-

場所:本館第5セミナー室 講師:菊澤律子(本館教授) 企画・協力:山田駅前図書館、国立民族学博物館

事前申込制(申込開始日:10月2日(日)午前10時) / 要展示観覧券

問い合わせ先:吹田市立子育て青少年拠点施設夢つながり未来館山田駅前図書館 中島

〒565-0824 大阪府吹田市山田西4丁目2-43 電話:06-6816-7722

## Lectures, Workshops and Symposium

\* Workshops, lectures and Symposium will be held in the Japanese language combined with Japanese Sign Interpreting and/or universal communication supporting AI system. Details will be announced on our website.

### Minpaku Seminars

Auditorium, 1:30-3:00 pm (venue opens at 1:00 am), Free Admission (pre-registration required)

#### ● An Art-and-Science Jam Session

October 15 (Saturday)

Kikusawa Ritsuko and Kawase Itsushi (Minpaku) with Yamashiro Daisuke (Twelve Inc. and Kyoto University of the Arts)

#### ● Field-Linguistics in Everyday Life

November 19 (Saturday) Yoshioka Noboru (Minpaku)

### Meeting with Researchers at Minpaku Weekend Salon

Conference Room 5, starts at 2:30 pm (venue opens at 2:00 pm), Exhibition-ticket purchase required (no pre-registration)

#### ● Fish Club and Otamatone

September 18 (Sunday)

Tosa Nobumichi (Maywa Denki) and Kikusawa Ritsuko (Minpaku)

#### ● Now, Let's Urdu! WII, At Least with Its Writing System

October 23 (Sunday) Yoshioka Noboru (Minpaku)

#### ● On the Bicentenary of the Braille Invention:

From “Showing the World” to “Touching the World”

October 30 (Sunday) Hirose Koujiro (Minpaku)

#### ● Electroencephalography:

Exploring Language Processing in the Brain

November 20 (Sunday)

Ihara Aya (National Institute of Information and Communications Technology)

and Yoshioka Noboru (Minpaku)

### Minpaku Filmshow

Auditorium, Pre-registration required / Exhibition-ticket purchase required

#### ● “Signing”

October 8 (Saturday) 13:30-15:50 (venue opens at 13:00 pm)

Host: Yoshioka Noboru (Minpaku)

Discussants: Sagara Keiko (NIHU, Minpaku), Sara Lanesman (Israeli Sign Language lecturer), Morita Akira (Meisei Gakuen School for the Deaf)

#### ● “Bonfire”

November 3 (Thursday, National Holiday) 13:00-16:25 (venue opens at 12:30 pm)

Host: Kikusawa Ritsuko (Minpaku)

Discussants: Sagara Keiko (NIHU, Minpaku), Ohdate Nobuhiro (Movie Director),

Onaka Tomoya (NPO Corporation Silent Voice), Chijiwa Keiko (Filmmaker)

### Workshop

#### ● Escape Game: Chinese version

September 23 (Friday, National Holiday),

October 29 (Saturday), November 12 (Saturday), Conference Room 5

Osaka Ohtani University & Minpaku Produce

\* Grade 2 and younger participant needs to be accompanied by an adult supervisor (high school students and older)

#### ● Interlingual Escape Game: Ryukyuan version

September 11 (Sunday)

National Institute for Japanese language and Linguistics (NINJAL) & IGENGO Lab. & Minpaku Produce

#### ● Interlingual Escape Game: Japanese Sign Language version

October 9 (Sunday), October 10 (Monday, National Holiday)

IGENGO Lab. & Minpaku Produce

### Workshop & Observing Workshop

#### ● “Computer Programming with Lego Brocks:

Learning How to Convey with Language through Programming Experience”

October 16 and November 6 (Sundays), Conference Room 5

Host: Kikusawa Ritsuko (Minpaku)

Planning and Production: Sano Mutsuo (Osaka Institute of Technology),

Ueda Nobuyuki (Doshisha Women's College of Liberal Arts and Osaka Institute of Technology),

Doshisha Women's College of Liberal Arts Yoshinaga Lab.

### Symposium

#### ● Interactive Symposium

“Let’s Talk about Us as *Homo sapiens* and Our Language”

October 9 (Sunday), Auditorium

Guests: Kugaya Akira (Counselor), Kubota Naoyuki (Tokyo Metropolitan University),

Saitoh Harumichi (Photographer), Tosa Nobumichi (Maywa Denki)

Planning and Production: Kikusawa Ritsuko (Minpaku),

Ueda Nobuyuki (Doshisha Women's College of Liberal Arts and Osaka Institute of Technology),

Doshisha Women's College of Liberal Arts Yoshinaga Lab.

### Minpaku Associates Lecture

#### ● “Language That Does Not Convey”

September 3 (Saturday), 1:30-3:00 pm (venue opens at 1:00 pm), in Conference Room 5 (with Live-streaming)

Pre-registration required / Free (Members of Minpaku Associates), 500 Yen (non-members on site only)

Yoshioka Noboru (Minpaku)

### Others

#### ● Minpaku × Knowledge Capital: SpringX Chogakko “Dissecting Language”

7:00-8:00 pm, online lecture, hosted by Knowledge Capital and Minpaku

“An Overview, and Linguistic Museology”

August 9 (Tuesday) Kikusawa Ritsuko (Minpaku)

“Simulating Speech Sound”

September 2 (Friday) Yoshinaga Tsukasa (Toyoashi University of Technology)

“Human Body and Language”

October 7 (Friday) Nakashima Takeshi (Hyogo University of Teacher Education)

“Brain Activity of Japanese Speakers Studying English”

November 4 (Friday) Ojima Shiro (Yokohama National University)

#### ● Hamayashiki-Minpaku Casual Lecture

September 17 (Saturday), 2:00-4:00 pm, at Hamayashiki, Suita-shi https://hamayashiki.com/

What Does “Language” Imply to You? Find Something New about Language

at the Minpaku Special Exhibit! Kikusawa Ritsuko (Minpaku)

#### ● Juzu-tsunagi Lecture Series

October 24 (Monday), starts at 2:00 pm, in Conference Room 5

“Introducing the Language Exhibit” Kikusawa Ritsuko (Minpaku)

hosted by Suita City Library and Minpaku